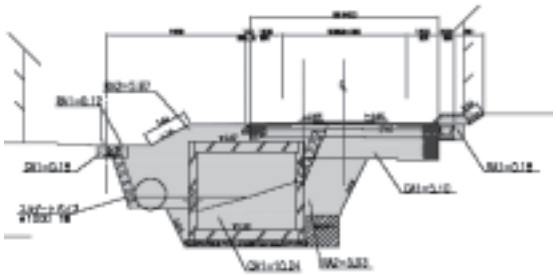
現場の失敗とその反省 ⑪-11

河川工事での失敗

1．工事内容

当工事は平成18年11月～19年８月にかけて、道路改良工事を行なうものであった。河川工事としてボックスカルバート工を渇水期の12月～３月に施工し、その後現道拡幅するという工程で工事を施工した。



2．工事の経緯

河川工事施工は仮設工として、上流を大型土のうにて締切り、排水管（φ1,000）で水替えを行なった後、ボックスカルバート工を施工するという順序で行なった。

２月水替え完了後、掘削・基礎コンクリート施工の段階で締切りが決壊し施工箇所が水没するという問題が起こった。

3．原因

原因は配水管の能力不足であった。降雨が続いた為、増水により使用した排水管の能力を超えてしまい、締切り部の水位が上昇し水圧により締切り部が決壊した。

ポンプ排水した後、再度大型土のうで締切りをし、今度は横に、別途排水路を設け、排水管の能力を超える前にその排水路にオーバーフローするよう変更した。

その後完了まで同じような問題は発生しなかった。

4．反省点

冬期（１、２月）は水量がほとんど無い川だったので増水を考慮していなかった。今回の経験を生かし今後の工事に取り組んでいきたい。

写真－１　水没時

写真－２　復旧後